

研修報告書 No.22

所属：昭和大学病院

研修先：土佐市民病院

この度2024年2月1日から29日までの1カ月間、高知県土佐市の土佐市民病院で研修させていただきました。関わってくださった先生方やすべてのスタッフさんの方々に厚く御礼申し上げますとともに、高知での1カ月を振り返って報告させていただきます。

私は東京都出身であり、研修先も都内の病院であるため、高知での生活には漠然とした不安がありました。しかし高知医療再生機構の方が空港まで迎えに来てくださり、公共交通や観光名所などを丁寧に説明していただき、また、病院の先生方やスタッフの方々も業務や生活に関する注意点などを最初に丁寧に説明していただいたお陰で、スムーズに高知での生活をスタートさせることができました。

主な業務内容としては、外来、救急対応、病棟業務がありました。外来は発熱外来が主でしたが、それ以外の患者さんも診察することもありました。私が研修した時期はコロナやインフルエンザB型が流行っており、診察を通して感染の流行を肌で感じる事が出来ると共に、抗インフルエンザ薬、リスク因子や入院適応など、様々な知識を実際の診療を通して学ぶことが出来ました。診察や検査での所見、処方など迷った場合はいつでも上級医の先生に判断を仰ぐことができ、先生方もしっかりとフィードバックをして下さったので、過度な緊張や不安もなく外来患者を診ることが出来ました。これまで自分で外来を捌く経験はほとんど無かったので、人数が多くなっていった時に効率良く進める方法を模索したり、現時点で出来ることから業務を片付けていったりと、来年度以降必要になるであろう考え方に触れることが出来ました。

救急対応では、空いている時間に救急車が来たらそれを上級医の先生と一緒に診察しました。外来や救急対応で入院となった場合は自分が主治医として入院させ、上級医の先生と共に治療方針の決定を行いました。DPCや病名登録を含めてオーダーは基本自分一人で行うため、専攻医に向けて貴重な経験になりました。また、診療科同士の垣根が非常に低く、他科の先生でも気軽に相談できたのは非常に助かりました。救急対応で入院させた患者の緊急手術にそのまま入ったこともあり、初療から術中所見、術後の経過までを連続して診ることが出来たのは非常に貴重な体験であったと思いました。

病棟業務は日々の回診やカルテ記載をはじめ、リハビリの様子を実際に見に行ったり、ご家族に話を聞いたりして、自宅退院で良いか、リハビリ目的で転院とするかといった、退院後のあり様を考えたりもしました。ご家族への説明も主治医が行うため、今後の展望を含めて言語化出来るように準備する練習になりました。

また、月の最後に症例の発表を行いました。上級医の先生も忙しい合間に私の発表スライドへのフィードバックをして下さり、お陰で発表を無事終えることが出来ました。

病院外での生活については、高知県は特に海の幸が豊富で、スーパーマーケットでも新鮮な鮮魚を東京の半額くらいで購入することが出来ました。カツオのたたきを初めとした海鮮を扱う飲食店も数多くあり、リーズナブルな価格で美味しい魚介を食べることが出来るのは大きな魅力だと感じました。特に、高知市中心部にあるひろめ市場では様々な飲食店を食べ比べながらお酒を楽しむこともできます。美味しい鮮魚を扱っているお店が多数入っており、おすすめです。また、個人的には名物のいも天が非常に美味しく、様々な店のいも天を食べ比べたりもしました。桂浜からは雄大な太平洋を見渡すことが出来ます。晴れた日には室戸岬、足摺岬を両方眺めることが出来、海も透き通っていて東京には無い体験をすることが出来ました。病院のある土佐市には高知市から車で30分ほどであり、大きな道路1本をずっと走れば行くことが出来ます。市の中心部はコンパクトながら様々な店が揃っている一方で、宇佐や伊野の方に行けばへき地の側面もある、様々な側面を持った町であると感じました。週末には高知市の繁華街に遊びに行くこともできる距離であることも魅力の一つだと思います。また、高知は親切な方が非常に多く、その様な県民性も魅力であると感じました。

来年度以降に向けて、非常に有意義な1カ月となりました。本当にありがとうございました。